

保証について

■パワーボックスコアには下記の保証規定を設けています。

本保証書は販売店で記入いたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管しておいてください。

SAMPLE

●お買い上げいただいた日から、淡水でご利用の場合は1年間を保証期間、海水または人工海水でのご使用の場合は6カ月を保証期間とし、この期間内に正常な使用状態において故障、および損傷が発生した場合は、本保証書の記載内容にもとづいて無償修理いたします。

なお、ろ材の汚れ、インペラー・オリング・キスゴムなどの消耗部品の磨耗や劣化、お客様の過失による製品の破損および損傷は保証の対象外になります。

●保証期間終了後、および保証期間内であっても、以下の場合は保証いたしません。

1. 誤った組み立て、取り付けによる故障、および損傷。
2. ご使用上の不注意、過失による故障、および損傷。
3. 不当な修理や改造による故障、および損傷。
4. 日常の点検、お手入れの不備による故障、および損傷。
5. 砂や異物の吸い込みによる故障、および損傷。
6. 家庭以外（船舶や車両などへの搭載）で使用されたことによる故障、および損傷。
7. 屋外で使用したことによる故障、および損傷。
8. 観賞魚用水槽以外で使用したことによる故障、および損傷。
9. 異常水質による故障、および損傷。
10. オゾン発生装置や殺菌灯などの使用によるゴム・樹脂パーツの劣化、および損傷。
11. インペラーシャフトなどを侵すケミカル剤および砂利を使用した場合の故障、および損傷。
12. 観賞魚用薬品以外の薬品が入った水槽で使用したことによる故障、および損傷。
13. 指定以外の電源（電圧、周波数）による故障、および損傷。
14. 火災、地震、水害、公害、落雷など、その他天災地変による故障、および損傷。
15. 魚類など生体の死亡や病気、および水草の枯れ。
16. 魚類などの生物がおよぼした事による故障、および損傷。
17. 中古品もしくは個人売買で購入された場合。（オークション、フリマアプリ等の「新品」「未開封」含む）
18. 譲渡品、景品等で入手された場合。
19. 本保証書の提示がない場合。
20. 本保証書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入がない場合。
21. 本保証書の字句を書き換えられた場合。

●本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

●保証修理をお受けになるときは、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。

●保証修理をお受けになるときは、本保証書を提示してください。

●保証期間終了後の修理につきましては、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。

●本保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in JAPAN

この保証書は、明示した期間、条件において無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※製品の改良又は、その他諸事情により断りなく製品の仕様を変更する場合があります。

KOTOBUKI 生活ロマンを創造する
コトブキ工業株式会社
〒632-0065 奈良県天理市武蔵町511番1
<http://www.kotobuki-kogei.co.jp/>

お客様相談窓口 ☎0743-66-2777

受付時間:土日祝を除く、月～金曜日 AM9:00～12:00 PM1:00～4:00

本書の記載内容の一部または全部を、無断転載することはかたくお断りします。
All Rights Reserved, Copyright©2021 Kotobuki Kogei Co., Ltd. 060921①
001090

KOTOBUKI

Aquarium External Canister Filter

POWER BOX CORE

100 / 150

取扱説明書



⚠ この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

この度は、「パワーボックス」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書にはご使用いただくための注意事項や使用方法などを記載しております。
本製品をご使用になる前に必ずお読みになり、記載内容を十分にご理解ください。

INDEX

警告	＜安全にお使いいただくために＞	P.1～2
注意	＜安全にお使いいただくために＞	P.2
ご使用される前に	＜設置について＞	P.3～5
各部の名称		P.6～7
設置・始動方法		P.8～12
作動が停止したときは…	＜困ったときの対処方法＞	P.12
お手入れの仕方	＜1.フィルターの開け方＞	P.13
お手入れの仕方	＜2.ろ材の交換と洗浄＞	P.14
お手入れの仕方	＜3.ポンプ室の掃除＞	P.15
お手入れの仕方	＜4.その他＞	P.15
お手入れの仕方	＜5.フィルターの再始動＞	P.16
こんなときは…	＜困ったときの対処方法＞	P.17～19
仕様		P.20
ろ過材のセッティング		P.20
交換部品		P.21

※実際の商品と画像の色合いが異なります。

※本製品は品質検査を行っておりますので、まれにモーターヘッドやフィルターボックス、バルブタップ内に水滴が残っている場合があります。予めご了承ください。

大切な飼育魚のために

- 大切な飼育魚のためにも、必ず一日一度は、フィルターや飼育器具が正常に作動しているか確認を行ってください。
- 本製品をご使用される前に、必ず本書をよくお読みください。

- 本製品は外部式フィルターの性質上、水中に含まれているエア(溶存酸素など)が蓄積されていくため、気泡が定期的に吐出(エアを吐き出す音がします)されます。エアを吐き出す音が気になる場合は、本体を少し傾けてエアを抜いてください。また、水中に含まれているエア(溶存酸素など)が蓄積されていくため、完全にエアが抜けきることはありませんが、通常蓄積される程度のエアは特に問題はありません。そのままご使用ください。
- シャワーパイプを水面よりも上に取り付けられている場合は、溶存酸素の量が増えます。エアを吐き出す音が気になる場合は、シャワーパイプを水中に取り付けてください。

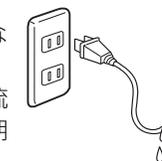
安全にお使いいただくために

必ずお読みください。

警告

「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

- 電源はAC100V(一般家庭用電源)を守ってください。また、電源はタコ足配線にならないようにしてください。火災や感電事故、故障の原因になります。
- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。また、電源コードは、出荷時の束ねた状態では使用しないでください。熱をもち、漏電事故や過熱による出火、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、ぬれた手で行わないでください。また、コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故や断線の原因になります。
- 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているか、ホコリや汚れが付いていないか定期的に点検してください。放置すると火災や漏電事故の原因になります。
- 電源コンセントは、右図のように必ず水滴だまりを設けて、水滴がコンセントに流れ込まないようにしてください。また、電源プラグに水分が付着していないか定期的に点検してください。放置するとサビや火災、漏電事故の原因になります。
- 水換えなどのお手入れの際、水の入った水槽に手を入れるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電事故の原因になります。
- 本製品は屋内で使用する観賞魚用です。それ以外の用途では使用しないでください。また、屋内であっても風呂場や洗面所など、湿度の高い場所では使用しないでください。火災や漏電事故の原因になります。



本製品は屋内専用です。屋外の池やベランダに設置した水槽などではご使用いただけません。

- 本製品は直射日光の当たる場所や高温になる場所、熱のこもる場所などでは使用しないでください。モーターの故障の原因になります。
- 引火性のもの(シンナー、ガソリン、ベンジン、可燃性スプレーなど)の近くでは使用しないでください。爆発や火災、故障の原因になります。
- 万一機器から煙が出ていたり、異臭がするなどの異常があるときは、ただちにコンセントから電源プラグを抜いて、使用を中止してください。その後、お買い求めになった販売店、または当社までご連絡ください。異常状態でのご使用は、火災や故障の原因になります。

- 大型魚などを飼育される場合は、毎日、取り付け状態が正常か確認してください。シャワーパイプや送水パイプに魚があたったりすると、ずれたり、外れたりして水流、飛沫が室内を濡らす恐れや生体の死亡など重大な事故につながる恐れがあります。
- 水槽に海水または人工海水を入れてご使用になる場合は、電源プラグに海水がかからないように注意し、万一塩分が付着しているときは、ただちにきれいに拭き取ってください。塩分が付着した状態で放置すると、火災や、漏電事故の原因になります。
- 本書で指示のない箇所を分解したり、修理、改造は絶対にしないでください。けがや故障、火災の原因になります。(修理はお買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。)

必ずお読みください。

⚠ 注意

「傷害または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 観賞魚飼育に適さない汚濁した異常水質の水や、観賞魚用品以外の薬品が入った水槽では使用しないでください。故障の原因になります。
- 市販されている一部の水質調整剤(特に麦飯石を含むものなど)や粒の細かい砂利、硬い微粒子を含む砂利(セラミック系の砂利やソイル系の砂などは、鉄分や細かな金属、セラミック系の微粒子を含むものもあります。)このような水質調整剤や底砂、または海水や人工海水を使用した場合、通常よりも極端にインペラーのシャフトを摩耗させ、異音の発生、流量減少や故障(シャフトの破損やモーターの停止など)の原因になります。シャフトの磨耗については、当社にて保証いたしかねますのでご了承ください。
- 本製品に底面フィルターを接続された場合に、底砂の汚れやきめの細かい砂利(ソイル系の砂など)により底面フィルターが目詰まりしてくると、正常な吸水が出来なくなり、流量が低下しますのでこまめにフィルター、底砂のお手入れをしてください。
- お手入れの際には、シンナーや洗剤などの薬品を使用しないでください。万一それらが付着したときは、十分に拭き取ってからご使用ください。
- 本製品は40℃以上のお湯では使用しないでください。また、ストーブなどの暖房器具の近くでも使用しないでください。機器が変形して、故障の原因になります。
- 本製品の上にものを載せたり、布を被せたりしないでください。破損したり、機器が過熱して、変形や故障の原因になります。
- 本製品は、電気製品の近くは避け、水平で平らな安定した場所へ設置してください。
- 本製品は、倒したり、傾けたり、逆さまにした状態での使用はしないでください。水漏れや故障の原因になります。
- 本製品は、空運転させないでください。インペラーを傷めたり、モーターの故障などの原因になります。
- 本製品の組み立て、取り付け、お手入れのしかたなどは、本書の手順および記載内容に従って安全に行なってください。また、本製品や本書の記載内容は、魚生体の死亡、病気、水草の枯れなどが起きないことを保証するものではありません。予めご了承ください。
- 本製品同士の連結や他メーカーの連結パーツを使用しての連結使用は、絶対にしないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 他メーカーの消耗部品や容量の異なる部品の使用、また混用は、絶対にしないでください。故障や水漏れの原因になります。

オゾン発生装置や殺菌灯などを使用されるとゴム・樹脂パーツを著しく劣化させ、故障の原因になります。

ご使用される前に

⚠ ご使用上の注意

- 本製品は、プラスチック製です。落としたり、ぶつけたり、衝撃を与えたりすると、割れや故障する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 本製品を設置される際は、フィルターボックス底面を床にぶつけたりしないように注意してください。特に、フィルターボックス内に水が入っている場合は、大変重くなっていますので、十分注意してください。
- 本製品は、水平で平らな安定した場所に設置してください。安定が悪いと転倒による破損や故障の原因になります。
- 本製品は、水槽水面が本製品の上面から最低40cm～最大100cmの範囲内になるように設置してください。
- 本製品は、送水パイプ・吸水パイプの内幅(下図参照)よりも幅の広い枠の水槽には、絶対に使用しないでください。無理に使用されるとパイプが破損し、エアが入ったり、水漏れの原因になります。



○CORE100/150用
送水パイプ



○CORE100/150用
吸水パイプ

- 本製品のストレーナー付近には、エアストーンなどエアが出る器具を設置しないでください。本製品がそのエアを吸い込み、フィルター内にエアが溜まってしまうことがあります。フィルター内にエアが溜まり過ぎるとモーターがエアを噛み、水を吸い上げなくなったり、異音の発生やモーターの故障の原因にもなります。
- 本製品のOリングやキスゴムなどに白い粉やヌメリのようなものが付着している場合がありますが生体、水質に影響はありません。
- 本製品が正常に機能するように、定期的(汚れの頻度に合わせて)に掃除を行ってください。
- 本製品のろ材、インペラー、Oリング、キスゴムは消耗品です。本書の内容をよくお読みの上、定期的な交換を行ってください。また、その他の部品も長期間ご使用されると汚れなど色々な原因により、劣化してしまいますので定期的に点検し、交換するようにしてください。
- ストレーナー(吸い込み口)から砂や砂利などを吸い込まないように設置してください。吸い込むと、インペラーがストップしたり、摩耗する要因となり、故障の原因になります。
- 本製品にクーラー、殺菌灯などの器具を連結される場合や、本体やパイプ類にゴミが詰まっている場合には、インペラーの回転が不安定になり、異音がある場合があります。また、バルブタップのレバーをパワーボックス作動中に異音がなるところまで絞らないでください。



ご使用される前に

■設置場所

パワーボックスコア本体の上面から水槽水面までの高低差が最低40cm～最大100cmの範囲内になるように設置してください。(吸水をスムーズに行うために、パワーボックスコアを水槽より低い位置に設置してください。)また、水槽の水位は吸水パイプのスライドパイプ接合部より上になるようにしてください。

※高低差が足りないと吸水がスムーズに出来なくなり、逆に高低差がありすぎても送水がスムーズに出来なくなり流量も低下します。

※上記の範囲内は、パワーボックスコアを使用出来る範囲内です。始動時は、水槽より低い位置に設置してください。高低差が少ない場合は、フィルターボックス内に水が溜まるまで時間がかかります。

⚠️ 注意 ホースの接続について

- 吸水側、送水側共に、ホースがたるんだり、折れ曲がったりしないよう必ず適度な長さに切ってご使用ください。

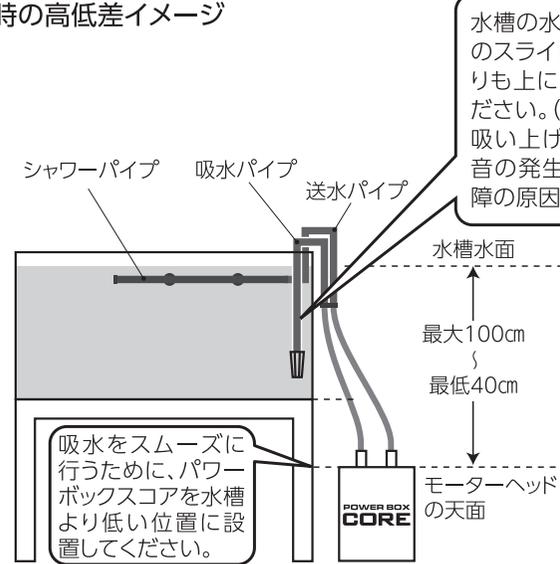
※ホースが長すぎたり、たるみがあると、正常な水の循環が出来ません。

※ホースが長すぎたり、たるみがあると、ホースと水流の重みが、特にバルブタップとホースの接続部辺りに掛かり、折れ曲がる恐れがあります。ホースが折れ曲がっていると、正常な水の循環が出来ず、ろ過が出来なかったり、ホースが外れて水浸しになる恐れや、モーターの故障の原因になりますのでご注意ください。

※折れ曲がった状態

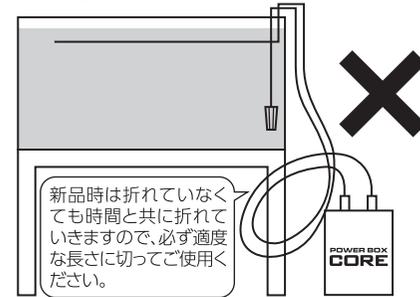


設置時の高低差イメージ

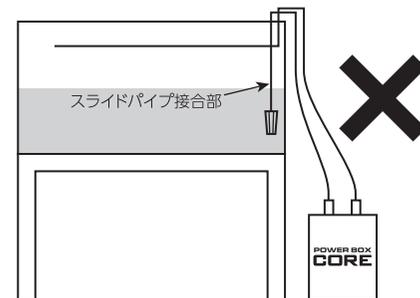


ご使用される前に

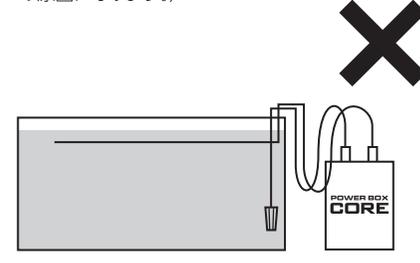
- ホースがたるんだり、折れ曲がったりしないように必ず適度な長さに切ってご使用ください。(スターターによる吸水や正常な水の循環が出来なくなります。また、ホースの折れやモーターの故障の原因になります。)



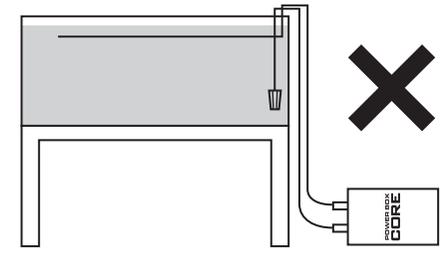
- 水槽の水位は、吸水パイプのスライドパイプ接合部より上になるようにしてください。(エアを噛み、水を吸い上げなくなったり、異音の発生やモーターの故障の原因になります。)



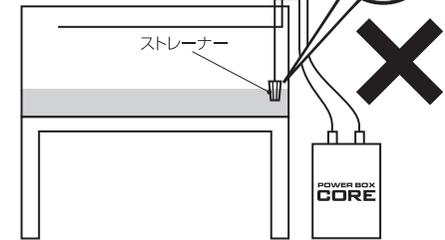
- パワーボックスの上面から水槽水面までの高低差が最低40cm～最大100cmの範囲内になるように設置してください。(高低差が足りないと吸水がスムーズに出来なくなり、逆に高低差がありすぎると送水がスムーズに出来なくなります。また、極度の流量低下やモーターの故障の原因になります。)



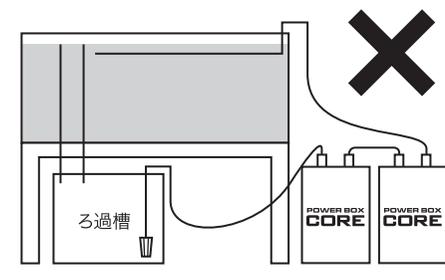
- 倒したり、傾けたり、逆さまにした状態での使用はしないでください。(水漏れや故障の原因になります。)



- 水槽の水位がストレーナーよりも下になると、空気を吸い込み、水を吸い上げなくなります。(モーターの故障の原因になります。)



- 本製品同士を連結や他メーカーの連結パーツを使用する連結使用は、絶対にしないでください。(故障や水漏れの原因になります。)

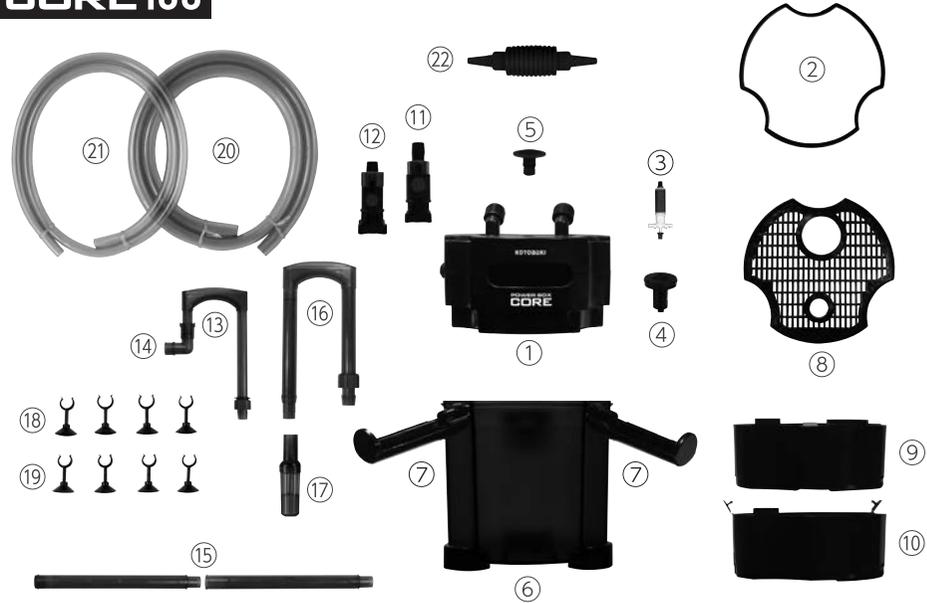


- 本製品にクーラー、殺菌灯などの器具を連結される場合や、パワーボックスコア本体やパイプ類にゴミが詰まっている場合には、インペラーの回転が不安定になり、異音が出る場合があります。また、バルブタップのレバーをパワーボックスコア作動中に異音が出るところまで絞らないでください。



各部の名称

CORE100



※②～⑤はモーターヘッド(①)内に付属されています。

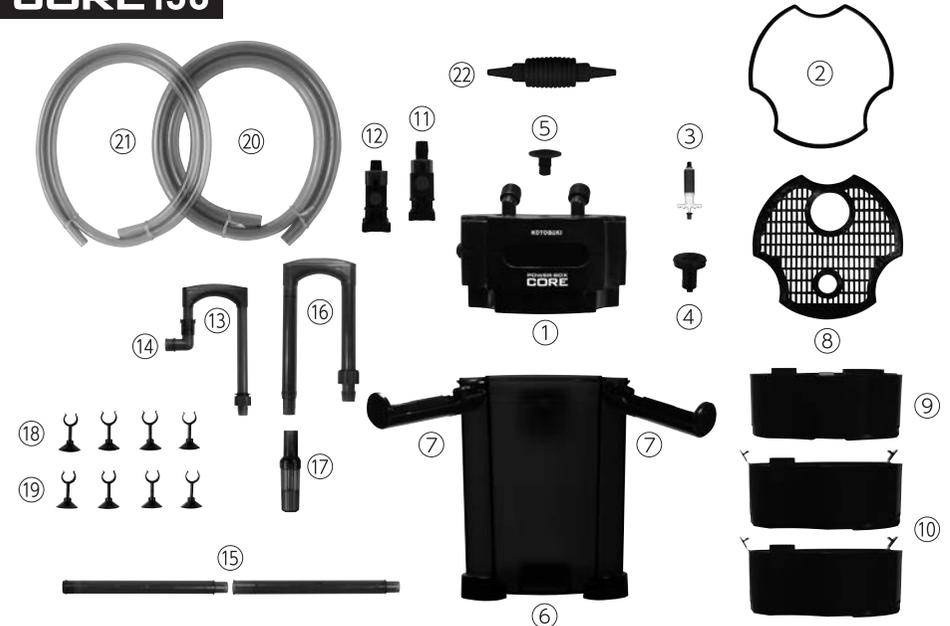


- | | | |
|-----------------|----------------------------|--------------------------------|
| ①モーターヘッド | ⑨インナーバスケット上段 | ⑰ストレーナー |
| ②Oリング | ⑩インナーバスケット下段 | ⑱キスゴム(小)4個
(送水パイプ・シャワーパイプ用) |
| ③セラミックシャフトインペラー | ⑪バルブタップ吸水用
(ホース内径16mm用) | ⑲キスゴム(大)4個
(吸水パイプ用) |
| ④下部カバー | ⑫バルブタップ送水用
(ホース内径12mm用) | ⑳ホース1.5m(内径16mm) |
| ⑤差し水キャップ | ⑬送水パイプ | ㉑ホース1.5m(内径12mm) |
| ⑥フィルターボックス | ⑭パイプジョイント | ㉒スターター |
| ⑦セーフティロック | ⑮シャワーパイプ(×2) | ㉓専用マット(コアウルマット100/150用) |
| ⑧インナーカバー | ⑯吸水パイプ | ㉔専用マット(コアスポジマット100/150用) |

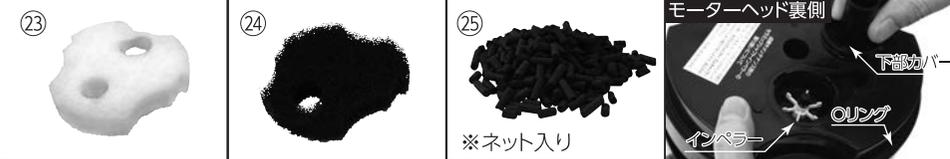
※消耗部品、交換パーツはP20～P21をご覧ください。
※製品の改良又は、その他諸事情により断りなく製品の仕様を変更する場合があります。

各部の名称

CORE150



※②～⑤はモーターヘッド(①)内に付属されています。



- | | | |
|-----------------|----------------------------|--------------------------------|
| ①モーターヘッド | ⑨インナーバスケット上段 | ⑰ストレーナー |
| ②Oリング | ⑩インナーバスケット下段(×2) | ⑱キスゴム(大)4個
(吸水パイプ用) |
| ③セラミックシャフトインペラー | ⑪バルブタップ吸水用
(ホース内径16mm用) | ⑲キスゴム(小)4個
(送水パイプ・シャワーパイプ用) |
| ④下部カバー | ⑫バルブタップ送水用
(ホース内径12mm用) | ⑳ホース1.5m(内径16mm) |
| ⑤差し水キャップ | ⑬送水パイプ | ㉑ホース1.5m(内径12mm) |
| ⑥フィルターボックス | ⑭パイプジョイント | ㉒スターター |
| ⑦セーフティロック | ⑮シャワーパイプ(×2) | ㉓専用マット(コアウルマット100/150用) |
| ⑧インナーカバー | ⑯吸水パイプ | ㉔専用マット(コアスポジマット100/150用) |
| | | ⑵活性炭(パワーバイオ45) |

※消耗部品、交換パーツはP20～P21をご覧ください。
※製品の改良又は、その他諸事情により断りなく製品の仕様を変更する場合があります。

設置・始動方法

① セーフティロックを外す



3箇所のセーフティロックを外します。外し方はセーフティロックの下部に指をかけて引き上げて外します。セーフティロックは密閉性を保つ為、多少固く締まっています。

② モーターヘッドを外す



モーターヘッドを両手で持ち上げて外し、フィルターボックスからインナーカバーを取り出します。

※始動前はフィルターボックスに水が入っていない為、持ち上げただけでは、モーターヘッドが外れない場合があります。(気密性を高めているため)その場合は、フィルターボックスを押さえて外してください。

③ ろ材を取り出し軽く洗う ※画像は CORE150



フィルターボックスからインナーバスケットを取り出します。(インナーバスケットが一度に取り出せるジョイント式を採用。)

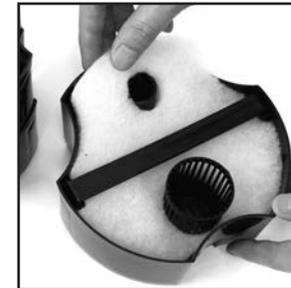
ジョイント部のロック(左右)を外し、インナーバスケットから各ろ材を取り出します。

取り出したろ材は水で軽くすすぎ洗いをしてください。
※パワーバイオ(CORE150のみ)はビニール袋から取り出し、ネットごとすすぎ洗いし、インナーバスケットからはみ出さない様に入れてください。

※パワーボックスCOREのジョイント式インナーバスケット構造は、メンテナンス時に、一度に取り出すことができ、メンテナンスが簡単に行えます。

設置・始動方法

④ インナーバスケットを合わせる ※画像は CORE150



インナーバスケットにすすぎ洗いをしたろ材を入れます。

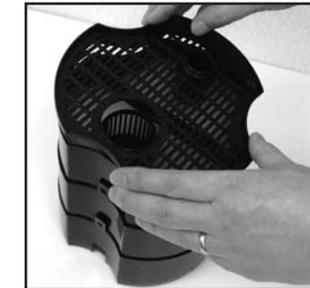
※下段からスポンジマット、パワーバイオ(CORE150のみ)、ウールマットの順番で各バスケットへ入れます。



インナーバスケットを連結させるには、すき間のないようにし、ジョイント部のロックをおさえて留めてください。

※CORE150はパワーバイオがインナーバスケットからはみ出していると、ジョイント部が留まりませんのでご注意ください。

⑤ インナーカバーの取り付け



穴の位置を合わせ、インナーカバーをインナーバスケットに取り付けます。

※インナーカバーは、インナーバスケットにしっかり取り付けてください。

※インナーカバーの表裏が正しくない場合、インナーバスケットには取り付けできません。

※インナーバスケットが歪んでいたり、浮いていると、モーターヘッドが正常に取り付けられず、水漏れの原因になりますのでまっすぐ取り付けてください。

※他のろ材を使用される場合は、ろ材を入れすぎないでください。インナーバスケットが浮いていると、モーターヘッドが確実に閉まらず水漏れの原因になります。

⑥ モーターヘッドを取り付ける



モーターヘッドをフィルターボックスに取り付けます。取付の際は、モーターヘッドから出ている下部カバーとインナーカバーの大きい方の穴位置を合わせてください。



3箇所のセーフティロックをモーターヘッドに掛けます。



カチッと音が出るまではめてください。

設置・始動方法

⑦ バルブタップの接続



吸水用(IN)と送水用(OUT)を確認し、バルブタップをバルブベースにまっすぐ差し込み、バルブタップ下部のネジを回して接続します。

※バルブタップが斜めになったり、歪んだままの状態が無理に取り付けるとネジ山が潰れ、連結部から水漏れする場合がありますのでご注意ください。

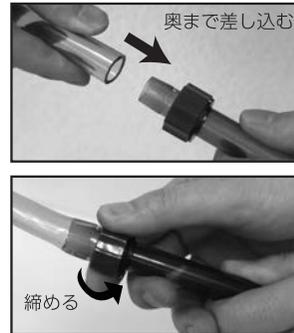
⑩ 適度な長さにホースを切る



ホースはバルブタップに差し込んだときの長さを考慮し、適度な長さになるようにカットしてください。

※ホースが長すぎたり、折れ曲がっていたり、たるみがあったりすると吸水や送水が正常に出来なくなります。

⑧ 吸水・送水パイプとホースの接続



吸水パイプと送水パイプに付いているナットを右に回し切った状態にし、ホースをきっちり奥まで差し込み、ナットを左に回し締めます。

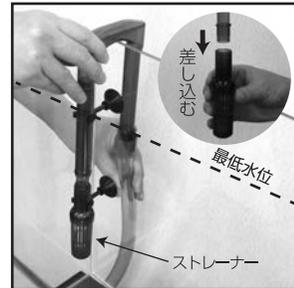
⑪ バルブタップとホースの接続



バルブタップのナットを右に回しきった状態にし、ホースを差し込みます。吸水側(IN)と送水側(OUT)に注意し、ホースを奥まで差し込み、ナットを左に回して締めてください。

※ナットを締めすぎるとネジ山が潰れ、ホースを締め付けられなくなりますのでご注意ください。

⑨ 吸水パイプの固定



吸水パイプにストレーナーを取り付け、キスゴムを取り付け、水槽のガラス面に固定します。

※ストレーナーは、底砂から少し離れた位置になるように設置してください。砂を吸い込むと、インペラーの破損や摩耗、停止によるモーターの故障の原因になります。

※水槽の水位は図の様にスライドパイプの接合部よりもずっと上になるようにしてください。

⑫ 開閉レバーを開く



吸水側と送水側のバルブタップのレバーが縦に開いている事を確認してください。



設置・始動方法

⑬ スターターを使用して呼び水を開始



※スターターには吐出口/outと吸入口/inがあります。パイプジョイントに差し込む際はスターターの向きに注意してください。



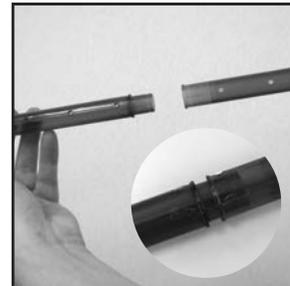
※スターターの向きに注意してください。

送水パイプを水槽にかけパイプジョイントにスターター(吸入口/in)を差し込みます。水槽の水が吸水側のホースの中流れ込むまで、スターターを素早く繰り返し押ししてください。サイフォン効果で水槽の水がフィルターボックス内に流れ込みます。送水側のホースの水が水槽水面付近まで上がると吸水が止まり呼び水完了です。

※COREと水槽水面の高低差が少ない場合は、フィルターボックス内に水が溜まるまでスターターを繰り返し押ししてください。

※ホースが長すぎたり、折れ曲がっていたり、たるみがあったりすると、吸水出来ない場合があります。

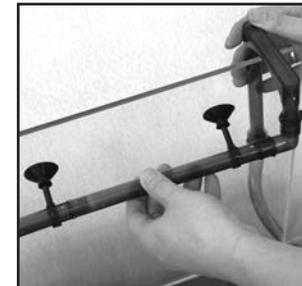
⑭ シャワーパイプの取り付け



シャワーパイプを接続します。

※シャワーパイプは水槽サイズに合わせて本数を調節してください。
※必ず、シャワーパイプの先端にはキャップの付いたパイプをお使いください。

⑮ 送水パイプ・シャワーパイプの固定



送水パイプ、シャワーパイプにキスゴムを取り付け、水槽のガラス面に固定します。

送水パイプとシャワーパイプを接続します。シャワーパイプの噴水孔が、水平よりも下向きになるように調整してください。上に向けると水槽からの伝い漏れや水漏れの原因になります。

※シャワーパイプの位置を水面より上にする、循環水が酸素を巻き込み、十分な酸素が水中に溶け込みます。(水の跳ね返りが水槽外に出たり、ライトに付いたりする場合は、ガラスブタ等をお使いください。)

※吸水パイプ、送水パイプ、シャワーパイプがキスゴムでしっかり固定されているか定期的に確認してください。外れていると水漏れの原因となります。

設置・始動方法

⑩ 各部を確認後電源を入れる



取り付けを行った各接続部やフィルターボックス内に水が溜まっている事を確認し電源を入れてください。

- ※水が完全に溜まっていないと始動しにくい場合があります。
- ※電源プラグをコンセントに差し込む時は、濡れた手では絶対に行わないでください。
- ※始動時にフィルター内に残っているエアが出ます。本体を少し傾け、エアを抜いてください。

⑪ 水漏れ確認



電源を入れたら、水が正常に流れているか、水が漏れていないか確認してください。また、時間(30~60分)を置いてからもフィルターが正常に作動しているか、水が漏れていないか再度確認してください。

- ※万一、水漏れが確認された場合、インナーバスケットが正常にセットされていない場合があります。再度、ご確認ください。

⑫ セット完了



※シャワーパイプより十分な流量がないときは、プラグを電源コンセントより抜き、ホースの長さ、たるみ、折れ曲がりがないか再度、確認してください。また、**ご使用される前**の項目を再度ご確認ください。

※写真はセットのイメージ写真です。パワーボックスコアはキャビネットの中に収納してご使用ください。

作動が停止したときは…

停電した場合や安全回路が働いた場合のご注意

■本製品には、火災防止のための安全回路が内蔵されています。

- 本製品は、使用中に異物や何らかの原因でインペラーが停止した場合やその他の原因により、モーター部の温度が異常に上がった場合、火災防止のために安全回路が働き通電をストップします。その後、モーター部の温度が下がると再び通電します。

■安全回路が働いた場合や停電した場合は、以下の確認を行ってください。

- 安全回路が働いた場合は、その原因を取り除く必要があります。本取扱説明書13~16ページの手順で本製品の点検を必ず行ってください。
- 安全回路が働いた場合や停電時には、通電が一旦停止するため、再び通電を開始した際にホースやフィルターボックス内に空気が溜まり、正常作動出来ない場合がありますのでフィルターが正常に作動しているか確認を行ってください。また、大切な飼育魚のためにも、必ず1日一度はフィルターが正常に作動しているか確認を行ってください。

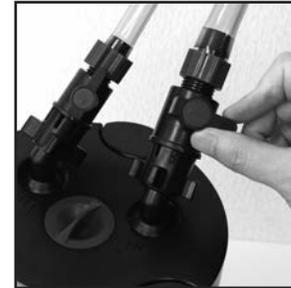
お手入れの仕方

1. フィルターの開け方

⚠ 注意

- 本製品は、お手入れ時にバルブタップ部のレバーを閉めることにより、水が逆流しない設計になっていますが、バルブタップ部及びバルブベース部に残った水がこぼれる場合がありますので、フィルターの下にシート等を敷いてからお手入れしてください。

① 吸水側の開閉レバーを閉じる



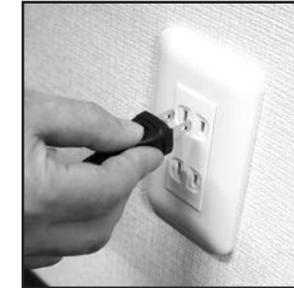
フィルターが作動している状態で、まず吸水側(IN)のバルブタップのレバーを閉じます。

② 送水側の開閉レバーを閉じる



吸水側(IN)のバルブタップのレバーを閉じたら、送水側(OUT)のレバーを閉じます。

③ 電源を切る



2つのレバーを閉じてからすぐに電源プラグをコンセントから抜きます。

※電源プラグはバルブタップを閉じてからすぐにコンセントから抜いてください。時間を置くとモーターが熱をもち、故障の原因になります。

※電源プラグをコンセントから抜くときは、濡れた手では絶対に行わないでください。

④ バルブタップを取り外す



先に吸水側(IN)のバルブタップをバルブベースから取り外し、次に送水側(OUT)を取り外します。(この時ホース内は満水状態で維持されます)

- ※バルブタップを取り外すとバルブタップ内に残った水が少量溢れますのでご注意ください。

⑤ ロックを外す



3箇所のセーフティロックを外します。外し方はセーフティロックの下部に指をかけて引き上げ外します。セーフティロックは多少回くまっています。

- ※本体(モーターヘッド)内部の水がこぼれる恐れがありますので、濡れても大丈夫な場所へ移動してから、セーフティロックを外してください。

⑥ モーターヘッドを外す



モーターヘッドを両手で持ち上げて外します。

- ※モーターヘッドを持ち上げたときに、内部に溜まっている水が下部の穴から少しこぼれます。

お手入れの仕方

2.ろ材の交換&洗浄

フィルターが正常に機能するように、定期的ろ材の洗浄、交換を行ってください。
(海水でのご使用の場合は、塩分が付着しますのでこまめに掃除を行ってください。)

① インナーカバーを取り出す



モーターヘッドを外したら、インナーバスケットからインナーカバーを取り出します。

② インナーバスケットを取り出す



フィルターボックスからインナーバスケットを取り出し、パワーパイオ(CORE150)は新しいものに取り替えます。

※新しく取り替えたパワーパイオは軽くすすぎ洗いをしてからご使用ください。
※インナーカバーやインナーバスケットが汚れている場合は、ろ材を取り出してから水洗いしてください。

③ ろ材を洗う

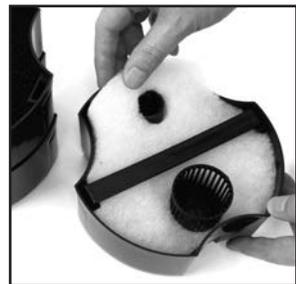


ウールマットとスポンジマットをインナーバスケットから取り出し、軽くもみ洗いをしてください。(下記※1参照)

※ウールマットとスポンジマットは洗って使えますが、1ヶ月に1回新しいものに交換してください。

※1飼育水や使用しているろ材には、ろ過バクテリアが棲息しています。ろ過能力の低下や急激な水質変化を起こさないために、水換えとろ材の交換は同時に行わないでください。また、ろ材を洗う際も飼育水をバケツに汲み取ったものかカルキを抜いた水を使用されることをお勧めします。

④ ろ材をセットする



インナーバスケットにスポンジマット、パワーパイオ(CORE150)、ウールマット、をいれ、設置方法を参考にフィルターを閉めてください。

※インナーバスケットが正しくセットされるよう注意してください。

定期的ろ材を洗浄し、下記の【交換の目安】を参考に、ろ材を交換してください。

コアウールマット100/150用

飼育水の細かいゴミや残餌、魚のフンを取り除き、ろ過バクテリアの働きによって安定した水質を維持します。

(交換の目安)
1ヶ月に1回



活性炭(パワーパイオ45)

飼育水のニゴリ、黄ばみ、悪臭を吸着し取り除く吸着ろ過を行います。

(交換の目安)
1ヶ月に1回



コアスポンジマット100/150用

飼育水の大きいゴミや残餌、魚のフンを取り除き、ろ過バクテリアの働きによって安定した水質を維持します。

(交換の目安)
1ヶ月に1回



※活性炭(パワーパイオ45)はCORE150のみ標準セット

お手入れの仕方

3.ポンプ室の掃除

フィルターが正常に機能するように、月に1度は、ポンプ室やインペラー等の掃除を行ってください。(海水でのご使用の場合は、塩分が付着しますのでこまめに掃除を行ってください。)

① 下部カバーを取り外す



ポンプ室についている下部カバーを左に回して外します。

② ポンプ室内のそうじ



インペラーを取り出し、ポンプ室、インペラーを柔らかいブラシ等で掃除してください。

※シャフトや羽根にゴミなどが絡みついていない場合は、必ず取り除いてください。(シャフトの折れにご注意ください)

③ 下部カバーを取り付ける



ポンプ室にインペラーを入れ、下部カバーを右に回して取り付けください。

※上下のゴムキャップが付いていることを確認してください。(ゴムキャップがないままご使用されますと、異音や故障の原因になります。)

⚠注意

- インペラーは消耗部品ですので、約1年を目安に交換してください。ご使用中にモーターの作動音が大きくなったり、フィルターの掃除を行っても流量が少ない場合はインペラーの寿命です。また、海水または人工海水でご使用の場合は、淡水使用時よりもインペラーの消耗が早く、約6ヶ月を目安に早めに交換するようにしてください。
- インペラー(羽根)を指で軽く弾いて、ガタガタしている場合は、必ず交換してください。モーターヘッドの故障の原因になります。(シャフトは折れやすいので持ち当たり力をかけない様にしてください)
- 水質調整剤(特に麦飯石を含むものなど)やきめの細かい砂利(セラミック系の砂利やソイル系の砂など)は、鉄分や細かな金属、セラミック系の微粒子を含むものもあります。このような水質調整剤や敷砂、または海水や人工海水を使用した場合、通常よりも極端にシャフトの磨耗が早くなりますのでご注意ください。シャフトの磨耗については、当社にて保証いたしかねますのでご了承ください。

お手入れの仕方

4.その他

フィルターが正常に機能するように、月に一度は、パイプ類やホース、バルブタップ等の掃除を行ってください。また、キスゴムは消耗品ですので劣化したときは交換してください。

- パイプ類やホース、バルブタップは取り外し、柔らかいブラシ等で掃除してください。特に吸水パイプ、送水パイプ、バルブタップの内側にゴミは詰まることがありますので定期的に点検してください。流量低下の原因になります。

- 右の写真のバルブベース部にゴミが詰まることがありますので、定期的に点検してください。



お手入れの仕方

5.フィルターの再始動

ろ材交換・ポンプ室の掃除後 吸水・送水のホース内が満水になっている場合

① 差し水をする



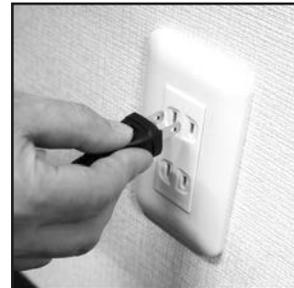
モーターヘッドの取り付け、バルブタップの装着後(レバーは閉じたまま)に差し水キャップを回して開けます。その後、穴から差し水をしフィルターボックス内を満水にして差し水キャップを開めます。(水を入れる際、ゆっくり水位を確認しながら入れてください。)

② 開閉レバーを開く



①差し水キャップをしっかり閉めた後、②バルブタップレバーを開きます。
※差し水キャップを閉めずにレバーを開くと水槽内の水が差し水の穴から溢れますのでご注意ください。

③ 電源を入れる



電源プラグをコンセントに差し込み再始動させます。(12ページ参照)
※水流にエアを嘔むことがあります。しばらく経つと抜けます。

ホース、パイプの掃除後

吸水・送水のホース内が満水になっていない場合

① フィルター内の水を抜く



フィルターボックス内に水が残っている場合は、中の水を全て抜いてください。その際、差し水キャップを外すと水が早く抜けます。

② 開閉レバーを開く



水が完全に抜け、差し水キャップをしっかり閉めた後、吸水・送水パイプ、ホース、バルブタップを装着し、バルブタップのレバーを開きます。(10ページ参照)

③ 呼び水をして電源を入れる



スターターポンプでフィルターボックス内に呼び水をし、フィルターボックス内と吸水・送水のホースに水が満水になった事を確認し電源プラグを差し込み再始動させます。(11~12ページ参照)

※呼び水を行う前に、フィルターボックス内に水が入っていないことを確認してください。
※フィルターボックス内を差し水で満水にしてもホース内には水は入りませんので再始動はできません。

⚠️ 注意 フィルターボックスからの水漏れの原因になります。

- ①ろ材の入れ過ぎなどにより、インナーバスケットが正常に重ねられていない場合がありますので、ろ材の入れ過ぎにご注意ください。インナーバスケットはフィルターボックスにセットされる前に重ねて見て、確認してからセットしてください。
- ②インナーバスケットは、フィルターボックスにまっすぐセットしてください。
- ③インナーカバーは、インナーバスケットにしっかり取り付けてください。(表裏や向きを確認)
- ④モーターヘッドを取り付ける際は、接続部分にゴミや異物がないか確認してください。

こんなときは…

⚠️ 下記の作業を行う時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

症状	原因	対処方法
作動しない。 水が出ない。	ホースが長すぎたり、折れ曲がったり、たるみが出来たりしている。	ホースを適度な長さに切り、折れやたるみを無くしてください。
	フィルターのヘッド部が水槽水面より高い位置にある。	4,5ページを参照に正しい位置にセットしてください。
	バルブタップのレバーが(閉)の状態になっている。	レバーを(開)の状態にしてください。
	吸水側(IN)と送水側(OUT)のホースが逆に設置されている。	10ページを参照して正しい位置にセットしてください。
	フィルターボックス内は満水だがホース内に水が入っていない。	16ページを参照に、ホース内を水で満たす為に、フィルターボックス内の水を全て抜き、呼び水から再始動してください。
	電源プラグを差し込む前からすでにフィルターボックス内やホースに空気が溜まっている。	電源プラグを抜き、16ページを参照に再始動してください。
	フィルターボックス内への呼び水が満水になる前に電源プラグをコンセントに差し込んでいる。	電源プラグをコンセントから抜き、16ページを参照に、フィルターボックス内に溜まっている水を全て抜いて一から再始動してください。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	AC100V(一般家庭用電源)コンセントへ差し込んでください。
	電源プラグを間違えてサーモスタットのコンセントに差し込んでいる。	
	水槽の水位が低い。	水位を上げてください。
	インペラー部(ポンプ室)にゴミや砂などの異物が詰まっている。	15ページを参照してインペラーの掃除をしてください。
	安全回路が働いている。	12ページを参照してください。

こんなときは…

⚠ 下記の作業を行う時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

症状	原因	対処方法
水流が弱くなる。 異常音がある。	ろ過材の入れ過ぎや、ろ過材の目詰まり。	ろ過材を適正量にしてください。 14ページを参照してろ過材の掃除、交換をしてください。
	ホースが折れたり、ホース内や本体にゴミやヘドロ状のコケなどが詰まり汚れている。	ホースの折れを直す。または、ホースの掃除、交換をしてください。
	パイプ類やバルブタップ、ストレーナーなどにゴミなどの異物が詰まっている。	ゴミを取り除いてください。
	フィルターボックス内に水中に含まれるエアが溜まっている。	本体を少し傾けてエアを抜いてください。
	インペラーの羽根やシャフトに水草や繊維などの異物が絡まっている。	15ページを参照してインペラーの掃除をしてください。
	インペラー部(ポンプ室)にゴミや砂などの異物が詰まっている。	15ページを参照してポンプ室の掃除をしてください。
	インペラーの破損(羽根やシャフトの破損やゴムキャップの損失)。または、インペラーシャフトの磨耗。(削れて全体や一部が細くなる)	インペラーを交換してください。
	タコ足配線になっていて電圧が下がっていたり、使用しているコンセントの電気容量が不足している。	タコ足配線を止める。 違うコンセントから電源を取る。
	電源プラグを間違えてサーモスタットのコンセントに差し込んでいる。	AC100V(一般家庭用電源)コンセントへ差し込んでください。
	水面と本体の高低差が範囲内になっていない。	4.5ページを参照に正しい位置にセットしてください。
クーラーや殺菌灯などの器具を連結している。	クーラーや殺菌灯などの器具を連結させない。	
バルブタップをパワーボックス作動中に異音になるところまで絞っている。	バルブタップを異音になるところまで絞らない。	
水漏れ。	セーフティロックの閉め忘れ。	9ページを参照してセーフティロックを閉めてください。

こんなときは…

⚠ 下記の作業を行う時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

症状	原因	対処方法
水漏れ。	バルブタップがまっすぐに差し込まれず、歪んで接続されている。	バルブタップを外してネジ山が潰れていない場合は、まっすぐ差し込んで接続しなおしてください。潰れている場合は交換してください。
	フィルターボックスやバルブタップ、Oリングなど各 부품の破損や劣化。	破損、劣化した部品を交換してください。
	フィルターボックスとモーターヘッド(Oリング)の接続部分にゴミや砂などの異物が挟まっている。	異物を取り除いてください。
	Oリングがねじれているなど正しくセットされていない。または、Oリングなど各 부품の変形、破損。	溝にOリングを正しくセットしてください。
	ホースなどがしっかりと接続されていない。	バルブタップに奥までしっかりとホースを差し込み、締めてください。
	ろ過材の入れ過ぎにより、インナーバスケットが浮き、モーターヘッドを持ち上げている。	ろ過材を適正量にしてください。
	エアが噛んでいる。	設置したばかりか、ろ材を交換したばかり。または、水中に含まれているエアやろ材から出るエアが蓄積されて溜まっている。
ストレーナーの近くにエアストーンなどエアの出る物がある。(シャワーパイプが水面より出ている場合、エアを多く噛んでしまい、エア噛みの原因になりますのでご注意ください。)		取り除くか、離れた所に設置してください。(シャワーパイプを水中にセットする)
ホースがしっかりと接続されていない。		10ページを参照してホースをしっかりと接続してください。
水位が低すぎる。		吸水パイプのスライドパイプ接合部よりも水位を高くしてください。
安全回路が働いている。		12ページを参照してください。

●適切な処置を行っても症状が改善されないときや、同じ症状が再発する場合、または上記以外の症状が発生したり、原因がわからないときは、ご使用を止めてお買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。

仕 様				
	CORE 100		CORE 150	
適合水槽	60cm~75cm(約60~100ℓ) 淡水・海水共用		75cm~90cm(約85~157ℓ) 淡水・海水共用	
本体寸法(約)	幅195×奥225×高358mm*		幅195×奥225×高415mm*	
定格電圧	AC100V 50Hz/60Hz		AC100V 50Hz/60Hz	
定格周波数	(50Hz)	(60Hz)	(50Hz)	(60Hz)
定格消費電力	9W	8W	9W	8W
流 量	610ℓ/h	690ℓ/h	610ℓ/h	690ℓ/h
水槽設置時流量	410ℓ/h	500ℓ/h	410ℓ/h	500ℓ/h
最大揚程	80cm	100cm	80cm	100cm
ろ過槽容量 (フィルターボックス)	(約) 3.5ℓ		(約) 4.0ℓ	
適合ホース	送水 内径12mm 吸水 内径16mm		送水 内径12mm 吸水 内径16mm	

*高さ、奥行きはバルブタップを含みます。

ろ過材のセッティング

インナーバスケットへのセッティング

●ろ材の入れ過ぎなどにより、インナーバスケットが浮いてしまいフィルターボックスの密閉性を損なう場合がありますので、ご注意ください。

パワーボックスコアには、下記の内容のろ過材が標準セットされています。バスケットタイプですのでお客様の飼育に適した標準ろ過材以外のろ材に自由に取り替えることが可能です。

	CORE 100	CORE 150	
コアウルマット100/150用 飼育水の細かいゴミや残餌、魚のフンを取り除き、ろ過バクテリアの動きによって安定した水質を維持します。	コアウルマット (専用マット)	コアウルマット (専用マット)	標準セット
コアシポンジマット100/150用 飼育水の大きいゴミや残餌、魚のフンを取り除き、ろ過バクテリアの動きによって安定した水質を維持します。	コアシポンジマット (専用マット)	コアシポンジマット (専用マット)	
活性炭(パワーバイオ45) 飼育水のニゴリ、黄ばみ、悪臭を吸着し取り除くろ過を行います。	パワーバイオ (活性炭)	パワーバイオ (活性炭)	標準セット
パワーリング(セラミックリング) 生きたろ過バクテリアの格好のすみかとなり、残餌や魚のフンなどによって発生するアンモニア、亜硝酸を分解する生物ろ過を行います。	セラミックリング (専用マット)	セラミックリング (専用マット)	
パワーゼオ(天然ゼオライト) 残餌や魚のフンなどによって発生するアンモニアを吸着し、適度なミネラルを添加、魚や水草に良い環境を作ります。	パワーゼオ (専用マット)	パワーゼオ (専用マット)	オプション

20

交換部品

交換部品一覧

※実際の商品と写真の色合いが異なります。

バルブタップ(吸水用) 品番：PCO-03 適応機種：CORE 100 CORE 150	吸水パイプ / 送水パイプ 品番：PSV-04 適応機種：CORE 100 CORE 150	品番：PX-504 適応機種：CORE 100 CORE 150
バルブタップ(送水用) 品番：PCO-04 適応機種：CORE 100 CORE 150	パイプジョイント 品番：PX-510 適応機種：CORE 100 CORE 150	
ストレーナー 品番：PX-505 適応機種：CORE 100 CORE 150	シャワーパイプ 品番：PX-502 適応機種：CORE 100 CORE 150	
セラミックシャフトインペラー 品番：PCO-01 適応機種：CORE 100 CORE 150	Oリング 品番：PCO-02 適応機種：CORE 100 CORE 150	
ホース1.5m(内径16mm) 品番：PSV-05 適応機種：CORE 100 CORE 150	ホース1.5m(内径12mm) 品番：PSV-06 適応機種：CORE 100 CORE 150	
キスゴム(大)4個入/キスゴム(小)4個入 品番：PSV-07 適応機種：CORE 100 CORE 150	品番：PSV-08 適応機種：CORE 100 CORE 150	スターター 品番：PCO-05 適応機種：CORE 100 CORE 150

21